

# 党中央政治局会議

田中 修

## はじめに

習近平総書記は4月29日、1-3月期の経済指標を踏まえ党中央政治局会議を開催し、当面の経済情勢と経済政策を分析・検討した。本稿では、会議の概要を紹介する。

今年に入り、錯綜し複雑な国際・国内環境の下、各地方・各部門は党中央の手配に基づき、経済発展の新常態に積極的に適応し、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、総需要を適度に拡大すると同時に、サプライサイド構造改革の推進に力を入れ、経済の発展・構造の最適化・民生の改善という比較的良好なスタートを実現した。

1-3月期、GDP成長率・都市新規就業増・都市農村の個人所得の伸び等の主要経済指標は予期目標に符合しており、経済運営は合理的区間を維持し、農業生産は良好な勢いを維持し、工業企業に収益は改善し、サービス業のウエイトは引き続き高まり、構造調整はより深く推進され、各社会事業の発展は新たな成果を得た。

市場化の程度がかなり高く、イノベーションを重視する一部の地方の成長の質・効率は、増強されている。

とりわけ重要なことは、サプライサイド構造改革に対する各地方・各部門の認識が不断に高まり、積極的に施策を展開し、成果が徐々に現われ、得た成績が容易に得難いものである。

成績を十分に肯定すると同時に、経済の下振れ圧力が依然かなり大きく、一部の実体企業の生産・経営は依然困難であり、市場のリスクポイントが増大していることをも見て取らなければならない。

存在する際立った矛盾・問題について、高度に重視し、冷静に分析し、的確に措置を採用して、堅塁攻略戦をしっかりと戦い、持久戦をしっかりと準備し、政策を着実に実施しなければならない。

中央経済工作会議の政策決定・手配に基づき、党18期5中全会精神を貫徹し、イノベーション・協調・グリーン・開放・共に享受という発展理念を実施し、マクロ政策を安定させ、産業政策を正確にし、ミクロ政策を活性化させ、改革政策を実効あるものとし、社会政策で底固めしなければならないという総体的考え方を堅持しなければならない。

総需要を適度に拡大することを堅持し、積極的財政政策と穏健な金融政策を実行し、断固としてサプライサイド構造改革を主線とし、新しい発展動力エネルギーの育成を加速し、伝統的な比較優位性を改造・グレードアップさせ、「生産能力削減・在庫削減・脱レバレッジ

ジ・コスト引下げ・不足補充」の5大任務を全面的に実施しなければならない。

党中央が確定した政策の内容・形を変えないことを確保し<sup>1</sup>、各政策の完全実施を確保しなければならない。

- ①マクロ経済政策の的確性を増強しなければならない。
- ②株式市場の健全な発展を維持し、市場メカニズムの調節作用を十分に発揮させ、基礎制度の建設を強化し、市場の監督管理を強化し、投資家の権益を保護しなければならない。
- ③人民元レートの基本的安定を維持し、市場需給を基礎とし、双方向に変動し、弾力性のあるレート運営メカニズムを形成しなければならない。
- ④戸籍人口の都市化率の引上げと住宅制度改革を加速させるという要求に基づき、不動産在庫を秩序立てて消化し、地域的・構造的な問題の解決を重視し、差別化したコントロール政策を実行しなければならない。
- ⑤雇用の基本的安定を維持し、経済構造調整のプロセスにおいて従業員の就業問題を適切に処理し、彼らの生活の困難を支援するのみならず、彼らの再就職能力の向上を援助しなければならない。
- ⑥物価の変化に注意を払い、有効な供給を保障し、価格改革を積極かつ穏当に推進しなければならない。
- ⑦基本的経済制度を堅持し、国有企業改革を深化させ、非公有制経済の健全な発展を促進し、対外開放を拡大し、外国資本を吸収し中国に投資させ、発展の予想を安定させ、市場の自信を増強しなければならない。

錯綜し複雑な国際環境とわが国の発展の新段階・新任務について、学習を強化し、思想・方法を改善し、弁証的唯物論と史的唯物論を運用して問題を分析・解決する能力を高め、うまく本質を掴みルールを把握し、うまく統一的に企画・協調し、戦略上の力の加減を維持し、表面と根本の問題を共に解決する政策を多く実施し、政策の度合をしっかりと把握するように注意し、経済の持続的で健全な発展を推進しなければならない。

(5月6日記)

---

<sup>1</sup> これは中央経済工作会議と政府活動報告で、サプライサイド構造改革の内容が大きく変わっていることを意識し、再度中央経済工作会議の内容に引き寄せようとしているものと思われる。